

## 無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集 (①無06-12-2/5)

### 目 的

無形文化遺産保護に関わる国際的動向の情報収集を図り、アジアを中心とする海外の研究機関等との研究交流を実施し、国内外の無形文化遺産保護に貢献する。

### 成 果

韓国との交流事業では、平成23年度に調印した「無形文化遺産の保護に関する日韓研究交流合意書」に基づき、2012（平成24）年5月18日～6月1日の間、高桑無形文化財研究室長を韓国に派遣し、韓国における仏教儀礼の調査研究を行った。

また韓国国立文化財研究所から、同研究所無形文化遺産研究室のイ・ミョンジン学芸研究士を、2012年7月2日～31日の間、無形文化遺産部に迎え、研究交流を実施した。

東南アジア諸国を中心とする無形文化遺産の情報収集では、11月にバンコクを訪問し、昨年の洪水後の無形文化遺産関連施設・機関等の回復状況の確認を行った。

無形文化遺産分野の国際的情報収集では、以下の国際会議等に参加し、情報収集及び研究発表等を実施した。

#### 参加会議

6月4日～8日「無形文化遺産保護条約第4回締約国総会」フランス・パリ

参加者：宮田繁幸、内容：情報収集

10月18日～21日「国際フォーラム 無形文化遺産の再構築と再生—東アジアの視点と文化の多様性」

台湾・台北市 参加者：宮田繁幸、内容：発表及び情報収集

12月3日～7日「無形文化遺産保護条約第7回政府間委員会」フランス・パリ

参加者：宮田繁幸（無形文化遺産部）、二神葉子（企画情報部）、内容：情報収集

#### 発表

- ・宮田繁幸「日本における無形文化遺産保護とユネスコ無形文化遺産保護条約」国際フォーラム「無形文化遺産の再構築と再生—東アジアの視点と文化の多様性」国立台湾師範大学 12.10.18
- ・宮田繁幸「地元の誇りは世界の遺産—ユネスコ無形文化遺産の思想と現状—」美濃市文化遺産シンポジウム「美濃和紙とうだつの上がる町並み—文化遺産を活かしたまちづくり、再発見と未来展望—」美濃市文化会館大ホール 13.2.16
- ・宮田繁幸「ユネスコ無形文化遺産保護条約第7回政府間委員会」第12回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会 東京文化財研究所 13.3.15

#### 研究組織

○宮田繁幸、高桑いづみ、飯島満、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、二神葉子（企画情報部）、俵木悟（客員研究員）